

(1) 工事コストの低減

⑰建設副産物対策

既設路盤材料の再評価

大阪国際空港エプロン改良事業

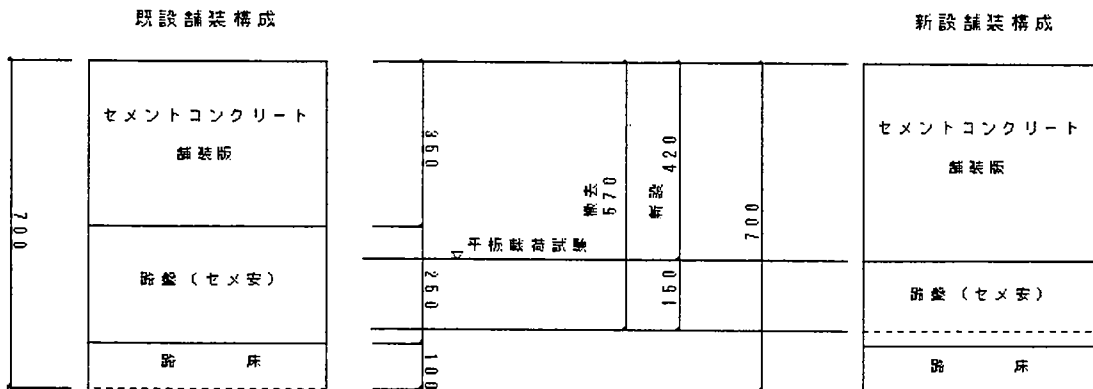
【施策の概要】

- ・ DC-8 規格の旧エプロン舗装を B-747 規格に改良するために既設路盤材の一部を舗装路盤材として活用することを計画している。
NC 舗装厚 当初 (35 cm) → 改良後 (42 cm)

【施策のポイント】

- ・ 工事費縮減の観点から既設路盤が、新設路盤と見なせるだけの厚さ (15 cm) 及び所定の支持力が確認できれば、新設舗装の路盤として再利用することとした。
 - ・ この事により建設副産物の発生を最小限に抑制することが出来た。
 - ・ 既設路盤材は、新設当時はセメント安定処理材を使用していたが、老化が進み、性状が判別しにくい。設計上の路盤支持力の扱いに苦慮している。今後、経年変化した路盤材の再評価基準の整備等を進めていく。
- 縮減額：19.31 百万円 縮減率：7.2%

【施策の実施状況・イメージ図】



既設路盤材の再利用のイメージ

- ・ 類似の取り組みを行っている工事名及び取り組み件数
エプロン改良工事 (その6) (その7) 2 件